

令和2年度（2020年度）の 経営状況について

- 1 すいすいレポートについて
- 2 吹田市水道事業の業務状況について
- 3 施策・事業の進捗状況について



令和3年(2021年)12月17日（金）
第13次水道事業経営審議会 第2回



本市水道事業の基本計画

「すいすいビジョン2029」

本市水道事業の経営状況や
事業の進捗状況などをとりまとめた
「すいすいレポート」



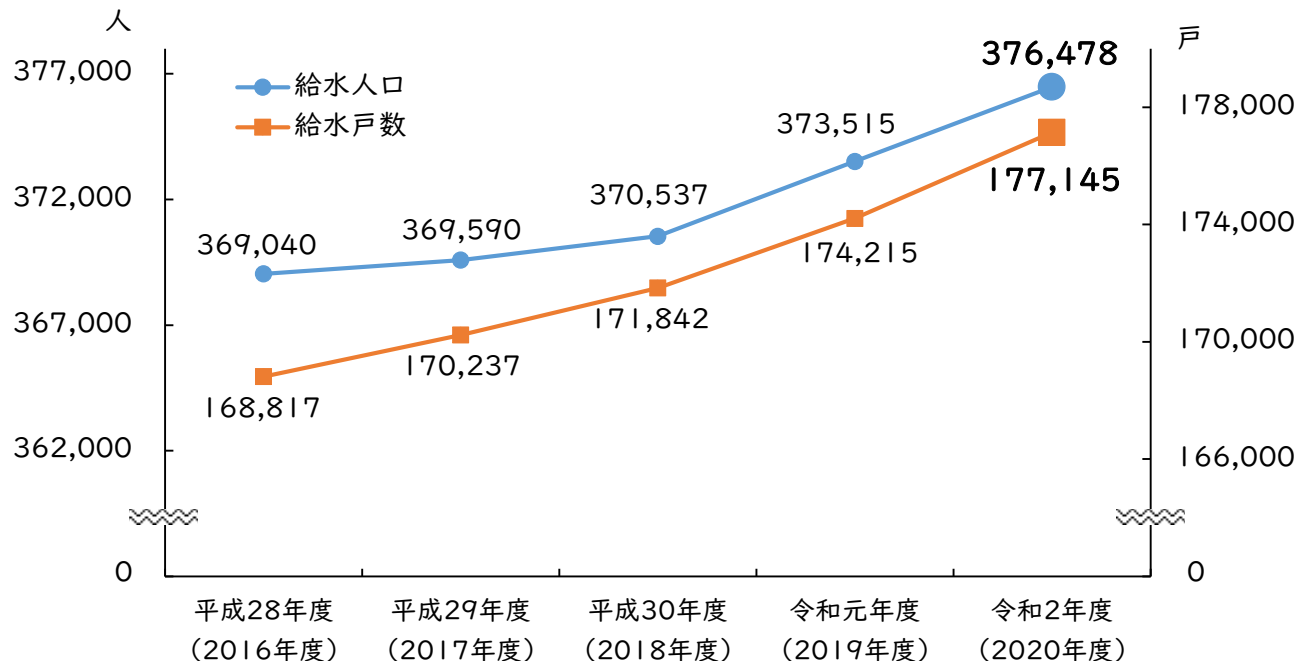
給水人口と給水戸数

すいすい
レポート
(令和3年度版)



2
ページ

過去5年間 給水人口・給水戸数の推移



給水人口



376,478人となり、前年度と比較して
2,963人(0.8%) 増加

給水戸数



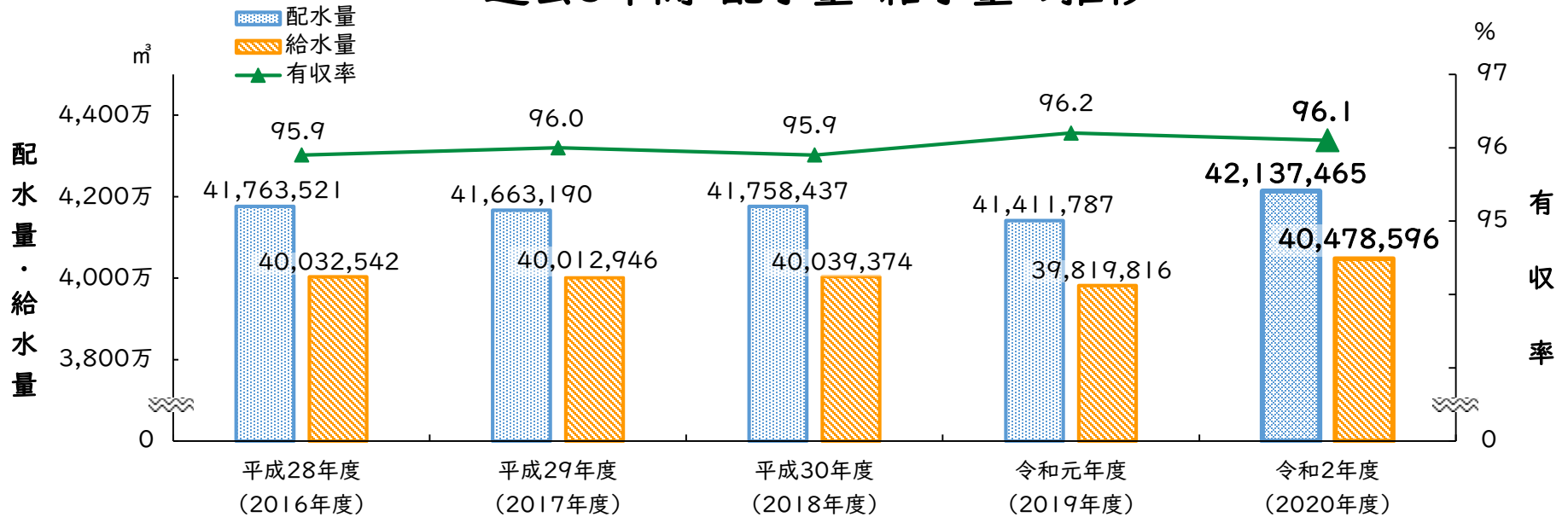
177,145戸となり、前年度と比較して
2,930戸(1.7%) 増加

配水量と給水量

すいすい
レポート
(令和3年度版)



過去5年間 配水量・給水量の推移



配水量



42,137,465 m³となり、
前年度と比較して

725,678 m³ (1.8%) 増加

給水量

(有収水量)



40,478,596 m³となり、
前年度と比較して

658,780 m³ (1.7%) 増加

有収率



96.1%となり、
前年度と比較して

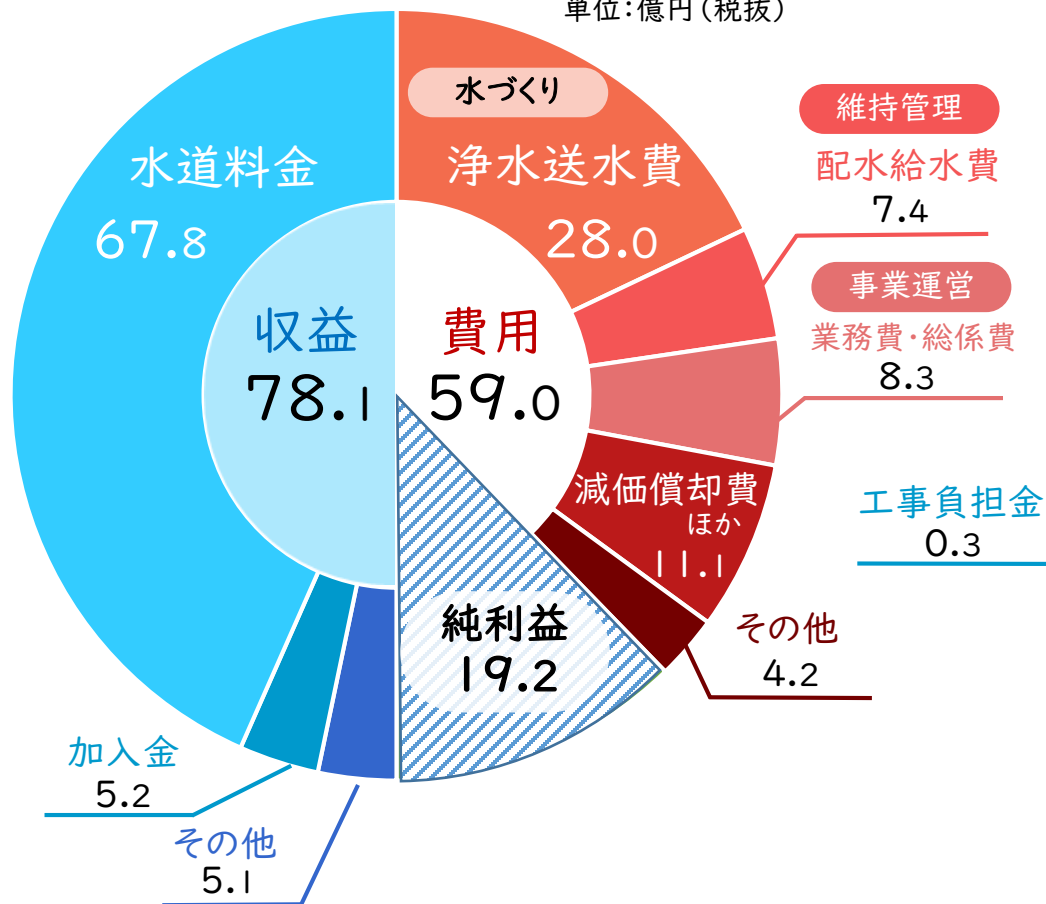
0.1ポイント 減少

収益的収支と資本的収支



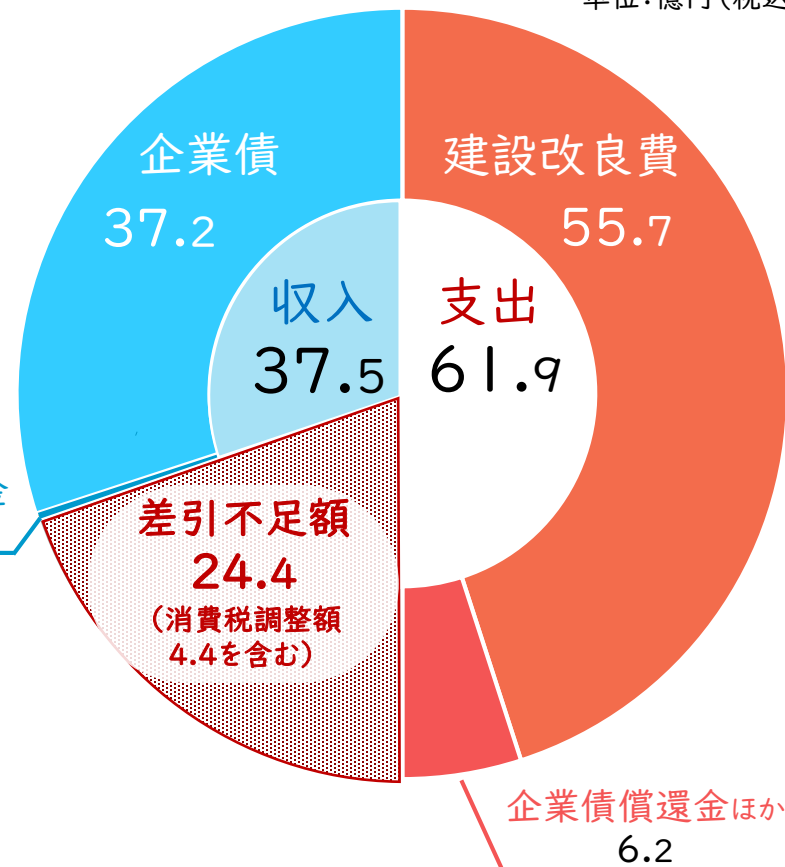
収益的収支の内訳

単位: 億円 (税抜)



資本的収支の内訳

単位: 億円 (税込)



基本理念と4つの基本方針

すいすい
レポート
(令和3年度版)



7~8
ページ

～安全で安心できる水道水の供給～

I 安全



～災害に強く、安定して供給できる

水道施設・体制の構築～

II 強靱



未来につなぐ 市民と育む 信頼のすいた水道

III 持続



～将来にわたり持続可能な

水道事業の経営～

IV 地域



～吹田らしさを活かした

市民に身近な水道事業の運営～



基本方針 I

～安全で安心できる水道水の供給～



施策

1. 飲み水としての安全を守る

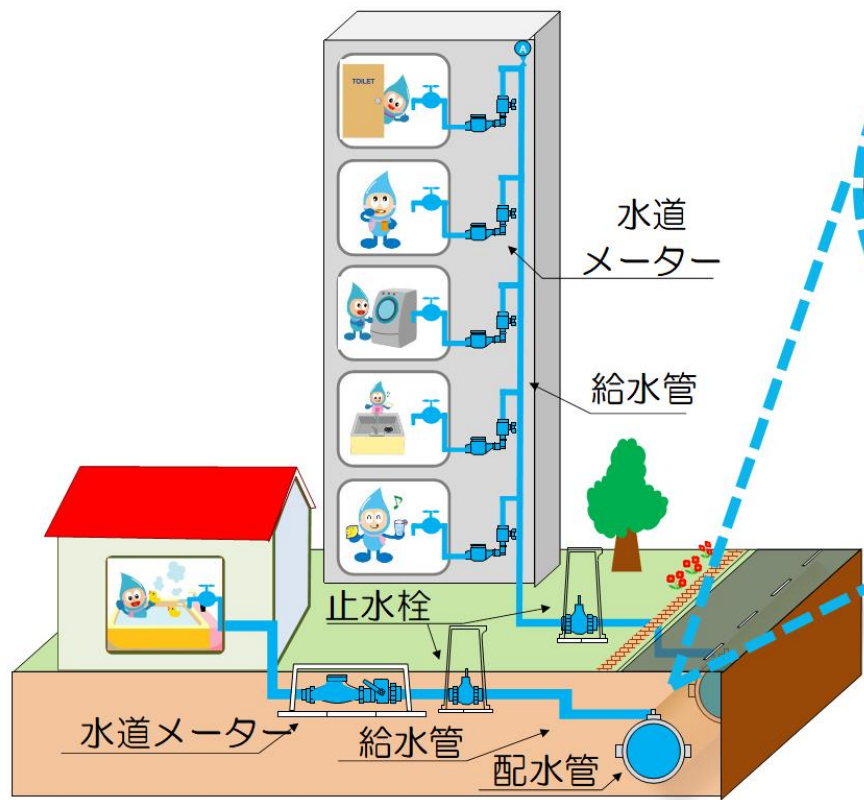
事業

- (1) 高水準な浄水処理の維持・向上
- (2) 鉛製給水管の対策
- (3) 直結給水の推進、給水装置及び貯水槽水道の適正管理

鉛製給水管の解消に向けた取組状況



10
ページ



!
漏水の原因
健康被害への懸念



鉛製給水管



解消件数
2,070 件

直結給水方式の推進

直結給水方式

メリット

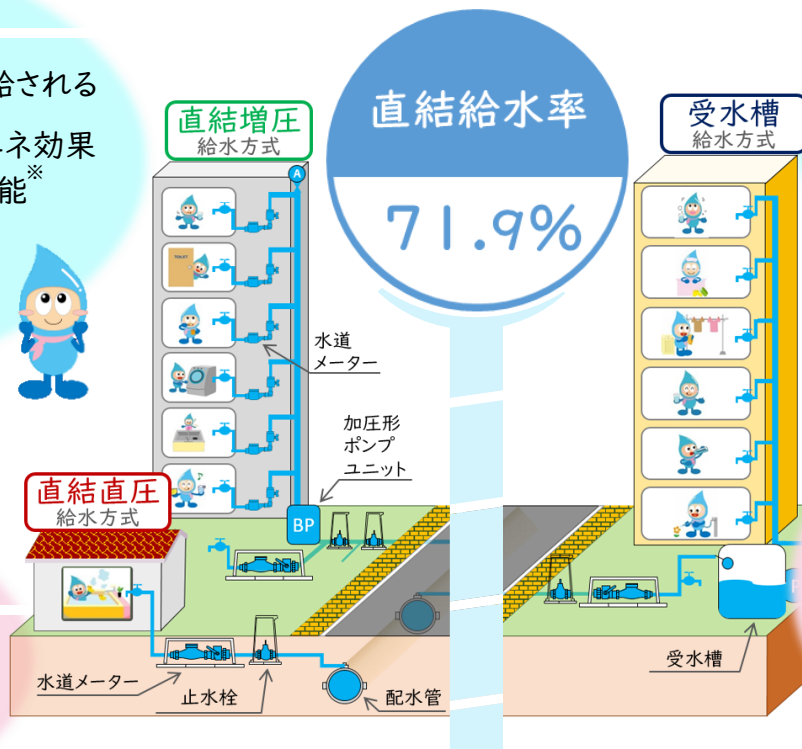
- 配水管から新鮮な水が直接供給される
- 配水圧力を利用できるので省エネ効果が期待でき、停電時も配水が可能[※]
- 受水槽の点検・清掃が不要

など

※増圧ポンプの場合、停電によりポンプが動かず、高層階に給水されないおそれがあります

デメリット

- 配水管等に事故があった場合、即時、断水のリスクがある



すいすい
レポート
(令和3年度版)



10
ページ

受水槽給水方式

メリット

- 災害時等、断水になった場合でも受水槽貯留分の水道水の確保が可能

デメリット

- 受水槽の定期的な点検、清掃などの維持管理が必要
- 受水槽の設置スペースが必要
- 高架水槽がない建物の場合、停電時の給水が不可

直結給水方式 を推進しています



基本方針 II

～災害に強く、安定して供給できる
水道施設・体制の構築～

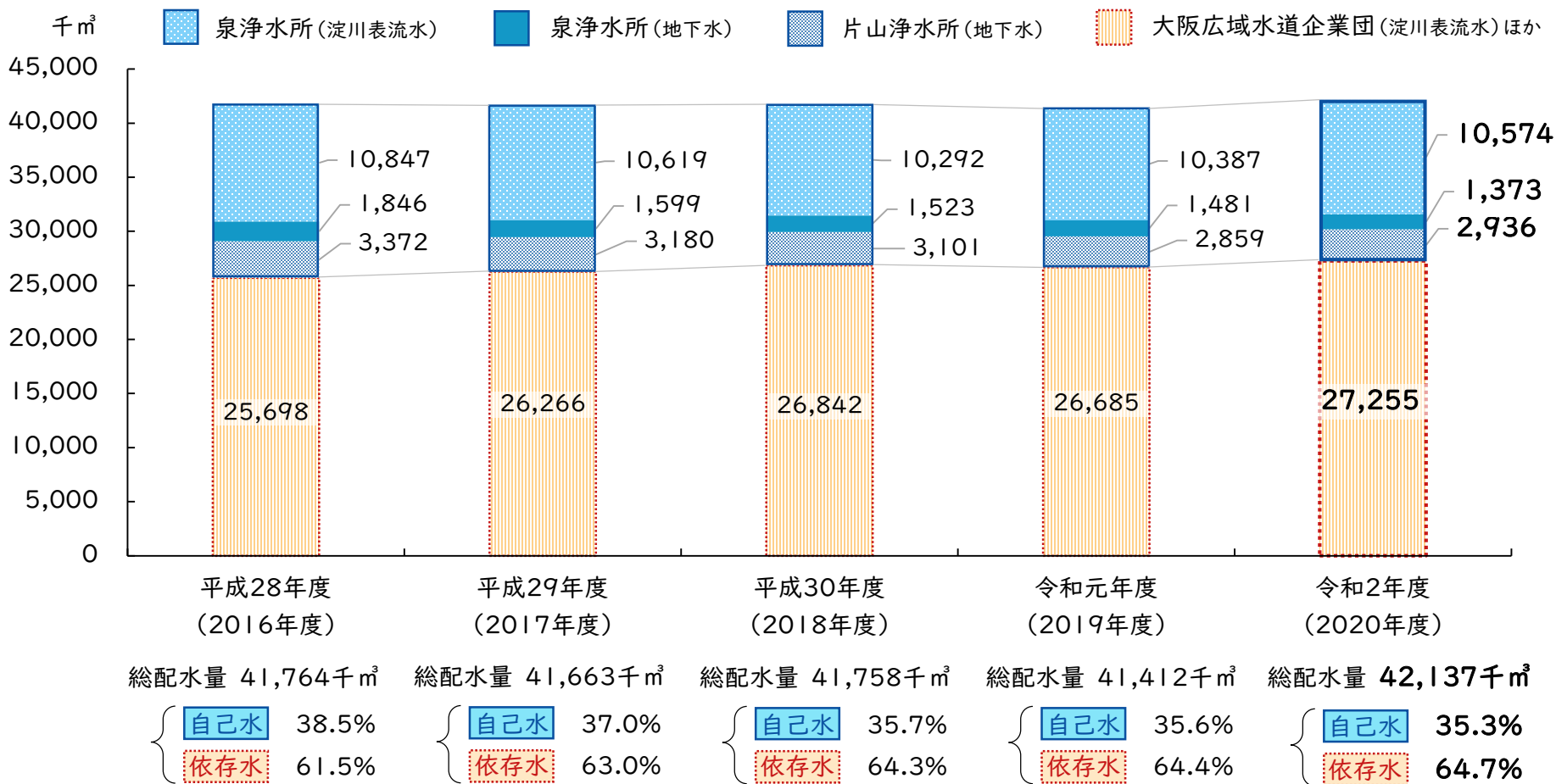


施策	事業
1.ふたつの水源を守り充実を	(1) 地下水源の充実 (2) 淀川表流水の維持
2.片山浄水所を中心とした整備を進める	(1) 片山浄水所水処理施設の更新 (2) 片山浄水所の場内整備 (3) 片山浄水所・泉浄水所連絡管の整備 (4) 南千里分岐・片山浄水所送水管の整備
3.浄水所・配水場の整備と管理の向上を	(1) 浄配水施設の更新・耐震化 (2) 浄配水施設の維持・管理
4.水道管の整備と管理の向上を	(1) 基幹管路の整備 (2) 配水支管の整備 (3) 管路の維持管理の充実
5.災害に強い体制を築く	(1) 計画・マニュアルの充実 (2) 応急給水・復旧体制の充実

自己水と依存水



過去5年間 自己水と依存水の推移



管路に関する指標



優位性



：数値が高い方が望ましい

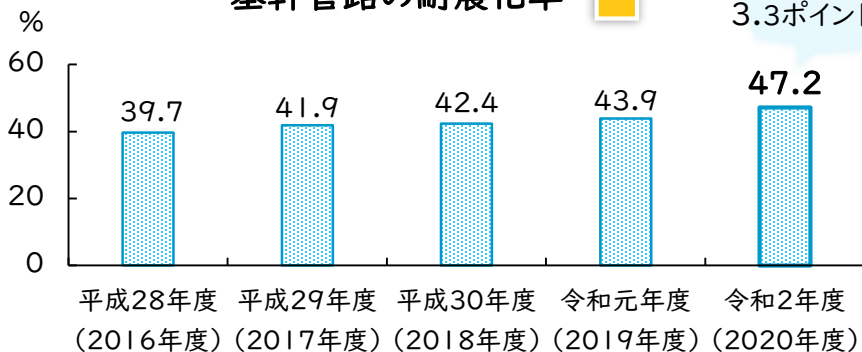


：数値が低い方が望ましい

基幹管路の耐震化率



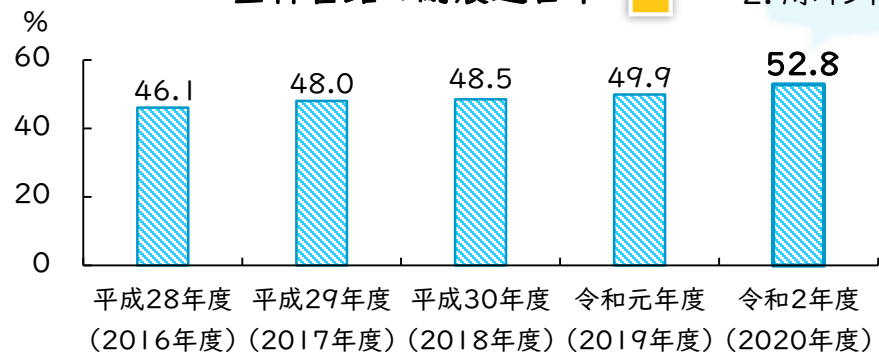
前年度比
3.3ポイント増



基幹管路の耐震適合率



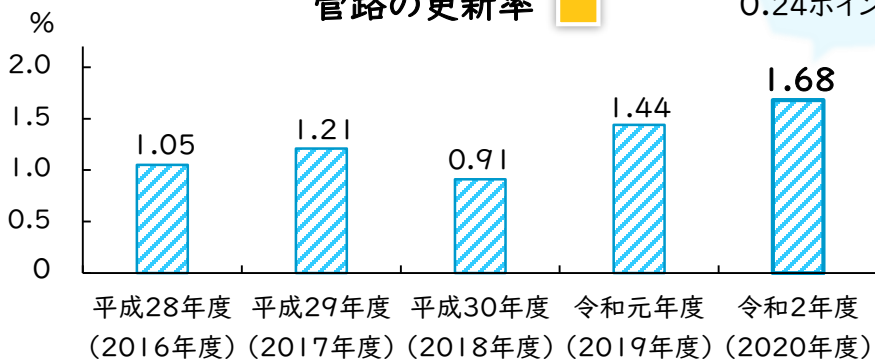
前年度比
2.9ポイント増



管路の更新率



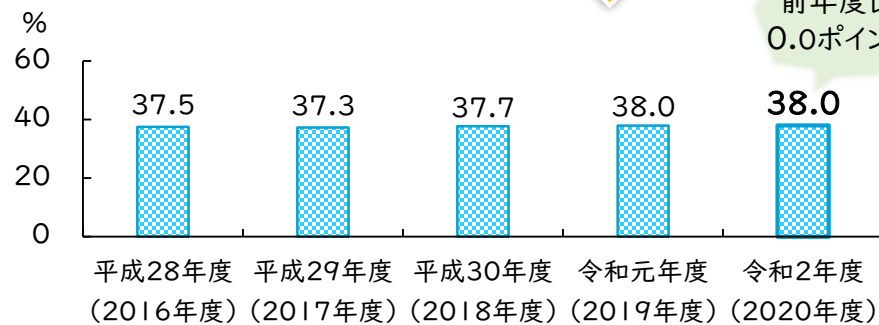
前年度比
0.24ポイント増



経年化管路率



前年度比
0.0ポイント



災害時給水拠点と災害時給水所



災害時給水拠点

9
か所

浄水所 及び 配水場 などにおいて、
応急給水のための設備のほか、飲料水袋などを
備蓄しています。

災害時などに開設し、応急給水を受けること
ができます。



災害時給水所

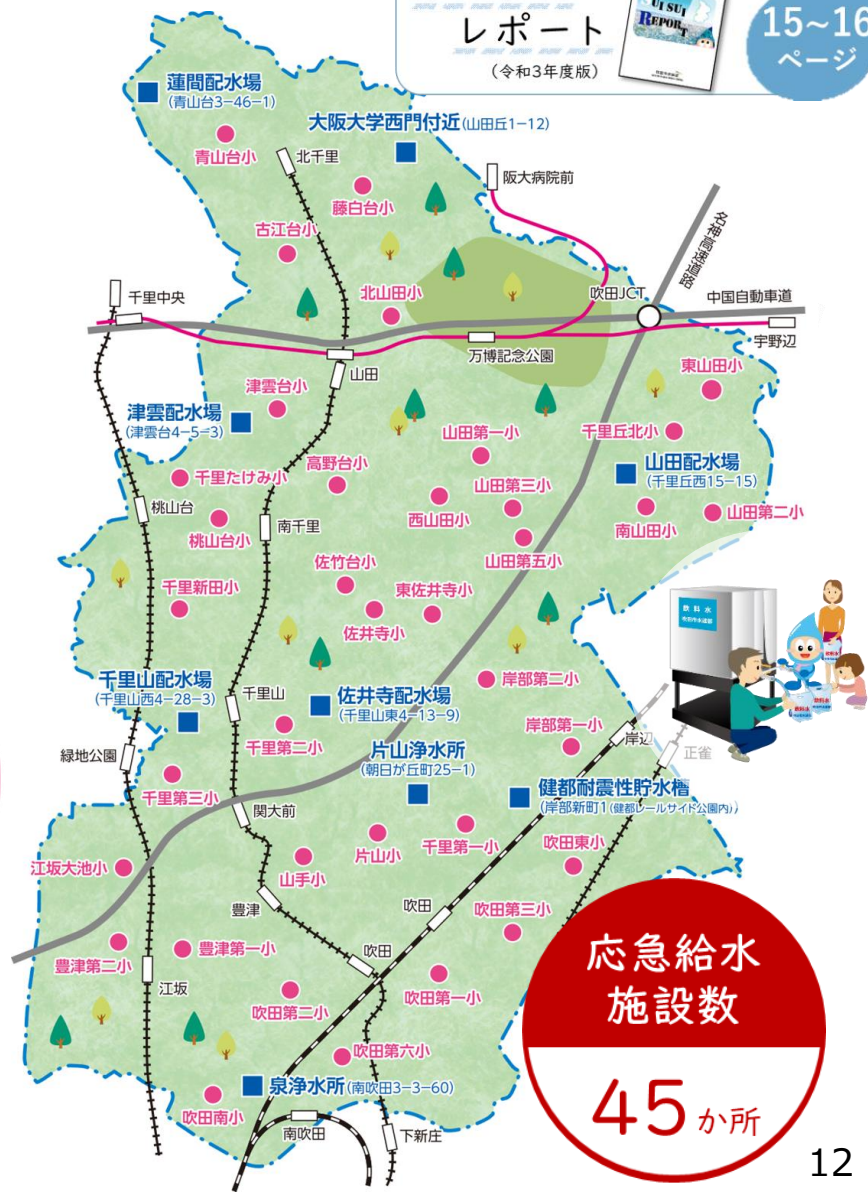
36
か所

避難所（全市立小学校）において、組立式
給水タンクを設置し、給水車から水を入れるこ
とで、災害時給水拠点よりも身近に応急給水
を受けることができます。

すいすい
レポート
(令和3年度版)



15~16
ページ



応急給水
施設数
45 か所

すいすい
レポート
(令和3年度版)



21~25
ページ



基本方針 III

～将来にわたり持続可能な
水道事業の経営～



施策

1. 強固な経営の土台を築く

2. 人を育て、強い組織を築く

3. みんなの地球環境を守る

事業

(1) 計画の推進

(2) 財源確保の取組

(3) 広域連携による効率的な事業実施

(4) 効率的な業務執行

(5) 技術監理の向上

(1) 人材育成と技術の継承

(2) 組織編成の最適化

(1) 環境に配慮した事業の推進

運転資金の確保

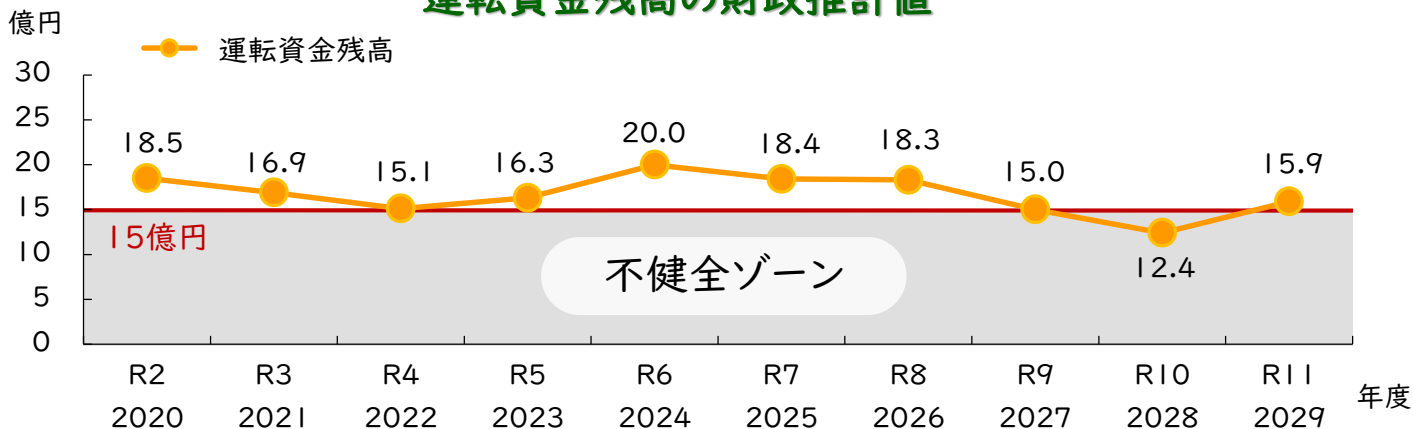


令和11年度(2029年度)
における目標

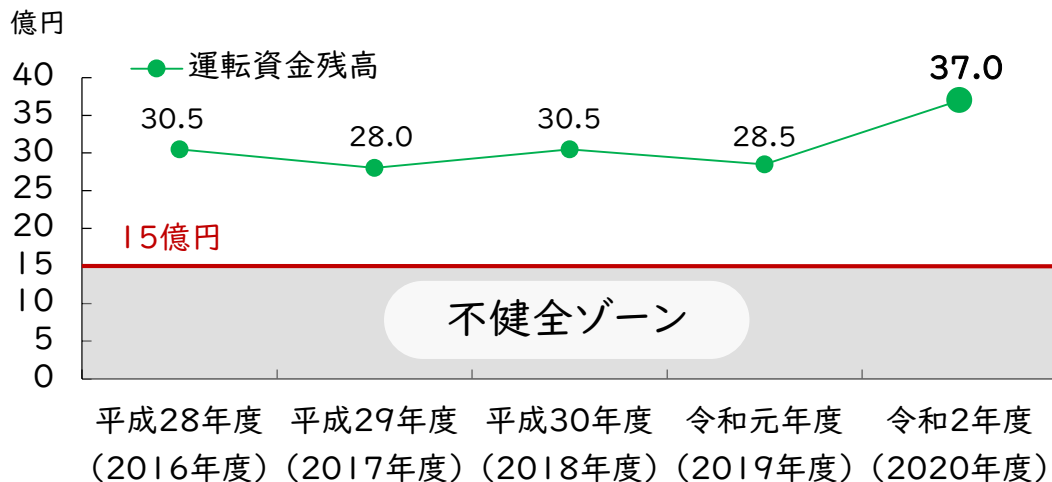
運転資金残高

25億円

運転資金残高の財政推計値



過去5年間 運転資金残高の推移



- 給水収益や加入金収入が **増加**
- 一部の建設改良工事を翌年度に繰り越したことで、資本的収支の不足額が **減少**

運転資金残高



37.0億円となり、前年度と比較して

8.5億円 増加

企業債発行の抑制

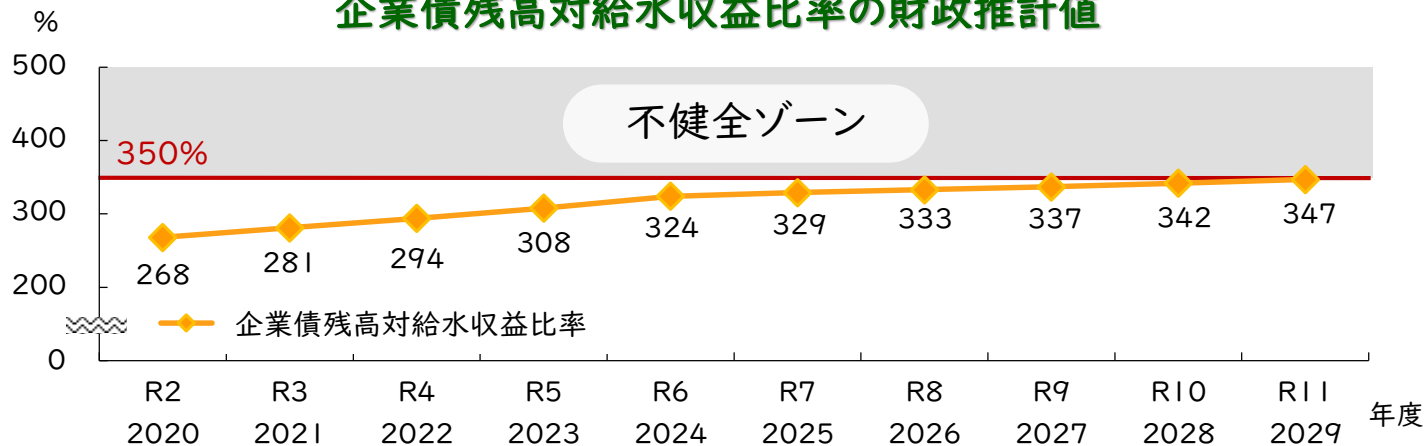


令和11年度(2029年度)
における目標

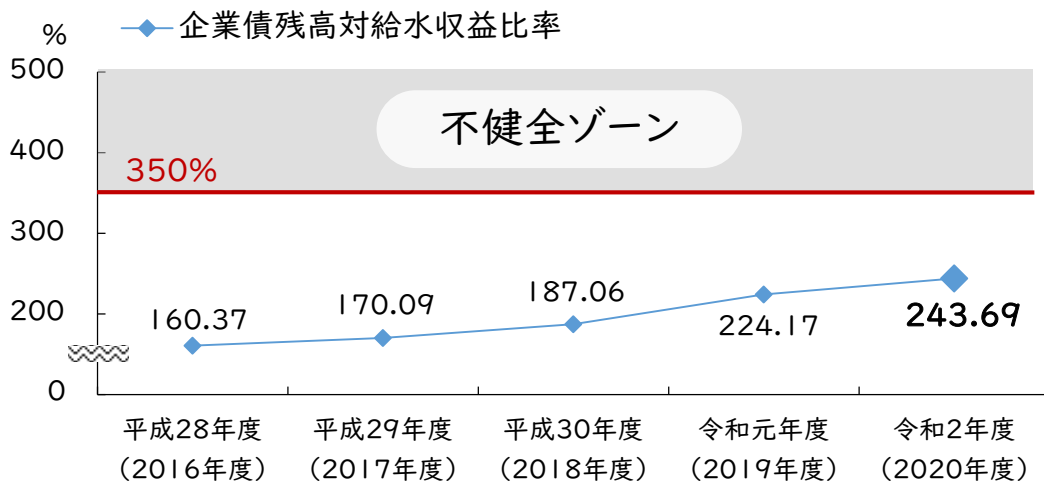
企業債残高 対
給水収益比率

350%
程度まで

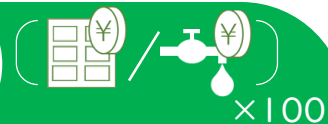
企業債残高対給水収益比率の財政推計値



過去5年間 企業債残高対給水収益比率の推移



企業債残高対
給水収益比率



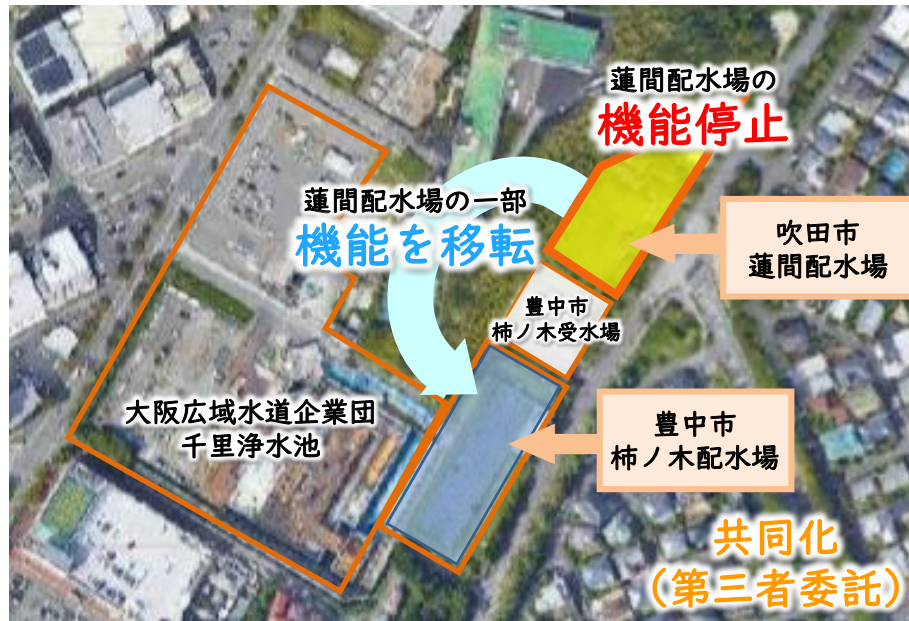
給水収益は増加したものの、
企業債の借入額が10億円増加

243.69%となり、前年度と比較して

19.5ポイント 増加

広域連携の取組

▶ 豊中市と柿ノ木配水場の共同化に関する覚書を締結



3市共同ポンプ施設予定地

● 覚書の内容

- (1) 蓮間配水場からポンプ圧送で供給している蓮間高区配水区域(青山台及び藤白台の一部)を柿ノ木配水場からの配水に変更します。(令和4年(2022年)4月頃)
- (2) 柿ノ木配水場を両市の共同管理とし、本市は水道の管理に関する技術上の業務を豊中市へ委託します。(水道法第24条の3に基づく第三者委託)

● 効果

蓮間配水場の機能停止による更新費用の削減など





基本方針 IV

～吹田らしさを活かした
市民に身近な水道事業の運営～



施策

1. 使う人に便利で快適なサービスを

2. 市民といっしょに水道を考える

事業

- (1) 料金に係るサービスの充実
- (2) 給水装置の維持管理に係るサービスの充実
- (3) 水道水質に係るサービスの充実
- (1) 多様な手段による広報の充実
- (2) 市民参画の推進による広聴の充実
- (3) フューチャー・デザインの取組
- (4) 市民とのパートナーシップの推進

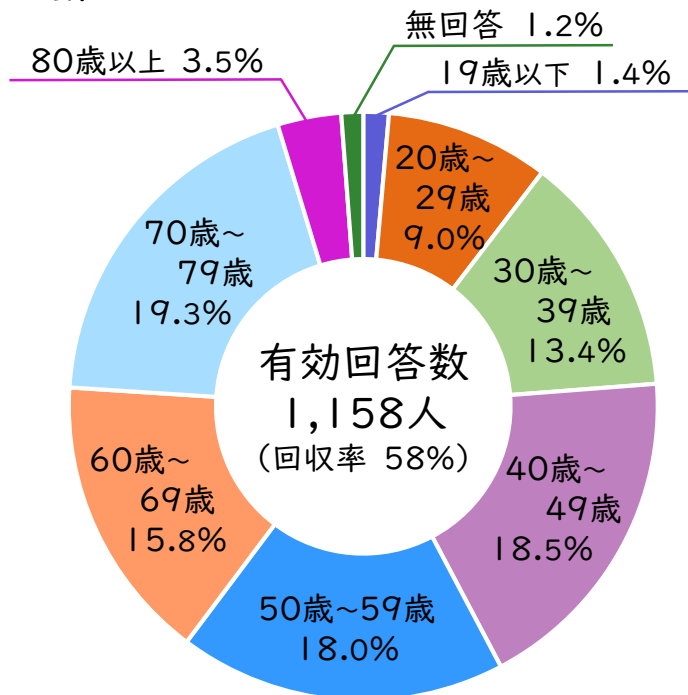
主な広報・広聴の実績



▶ 市民アンケートの実施

- 調査対象 市内在住の18歳以上85歳未満の方
2,000人(無作為抽出)

- 年齢



- 調査結果 <https://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-suido/somu/anketo.html>

▶ 広報用動画の制作

目的

市民の水道事業への
関心・理解を
深めてもらうこと

吹田市
水道部HP



すいすいビジョン
2029の趣旨を
映像化



水道事業に携わる
職員の思いや
職務風景の映像

市民サービス充実の取組状況

すいすい
レポート
(令和3年度版)



28
ページ

昭和55年
11月

! 水道料金の口座振替制度開始

平成22年
10月

! 口座振替割引制度拡充
(1回50円から100円に増額)



平成6年
3月

! 小規模受水槽無料点検サービス開始

平成28年
4月

! 高齢者世帯声掛けサービス開始
! 認知症サポーターの取組開始

平成19年
10月

! 口座振替割引制度開始 (1回50円)
! 郵便局・コンビニエンスストア収納開始

平成31年
3月

! 水道の閉開栓のインターネット
受付サービス開始

平成20年
11月

! 高齢者宅の水道の無料相談
・点検開始



令和2年
4月

PayPay

LINE Pay



水道料金の
スマートフォン
決済開始

市民に身近で信頼される水道

を目指して

これからも事業の

見える化

経営状況

に努めます

事業の
進捗状況

